

平成22年5月10日から24日の間に分娩された方およびそのご家族の方へ

—「承認統計21世紀出生時縦断調査と日本産科婦人科学会専門委員会（周産期登録）データベースを利用した、様々な環境要因のNon-Communicable Diseasesへの影響評価」へご協力をお願い—

研究機関名 岡山大学

研究責任者 岡山大学学術研究院医歯薬学域 産科・婦人科学 増山 寿

1) 研究の背景および目的

Fetal Origins of Adult Disease; FOADとは、赤ちゃんがお母さんのお腹の中で低栄養にさらされ順調に成長しなくなった場合、大人になった時に肥満症や2型糖尿病、高血圧などの生活習慣病のリスクが高くなるという考え方です。今日、出生前のお母さんのお腹の中の環境だけでなく、出生後の母乳栄養などの様々な環境の影響が大人になった時の生活習慣病のリスクと関連しているとされ、Development Origins of Health and Disease; DOHaDという考え方として広く知られています。

お母さんのお腹の中～出産～子どもの時に渡って、お母さんのお腹の中の環境、化学物質環境、医療環境、栄養環境、生活習慣、社会環境などの様々な環境が赤ちゃん・子どもを取り巻き、虚血性心疾患、高血圧症、肥満症、悪性腫瘍、精神疾患などを含めたNon-Communicable Diseases; NCDsの発症に深く関わっていると考えられています。しかし、これまで、我が国において、お母さんの妊娠中の病気やもともと持っている病気による子どものNCDsの発症率の違いやリスク因子の検討など長期間の調査は行われていません。

海外や国内でも様々な小児環境の調査が進行中ですが、これまで岡山大学大学院医歯薬学総合研究科疫学・衛生学分野では、21世紀出生児縦断調査で集められた情報をもとに、子どもが成長する環境と健康への影響の関連性について調査を行ってきました（研究科題名：承認統計21世紀出生児縦断調査を利用した、様々な環境要因の小児の健康・成長・発達への影響評価）。21世紀出生児縦断調査とは、子どもの成長・発達の様子や、子育てに関する環境や意識、行動の変化を調査する目的で、平成13年1月10日から17日と平成13年7月10日から17日に出生した子どもと、平成22年5月10日から24日の間に出生した子どもを対象に、厚生労働省によって実施されている調査です。その時期に全国で出生した子どもの全数に対して、郵送による質問紙調査を行い、平成13年生まれと平成22年生まれの約85,000人の方から回答を頂いています。しかし、これまでの調査では、子どもの情報のみで、お母さんの妊娠中の病気やもともと持っている病気、出産の時の情報がなく、それらの調査はできていません。

そこで、この研究では、日本産科婦人科学会専門委員会（周産期登録）データベースのお母さんの情報と出産の時の情報と、岡山大学大学院医歯薬学総合研究科疫学・衛生学分野で行われている「承認統計21世紀出生児縦断調査を利用した、様々な環境要因の小児の健康・成長・発達への影響評価」の子どもの情報を繋ぐことで、お母さんのお腹の中で受けた影響（出産の週数、赤ちゃんの成長不良、妊娠高血圧症候群や妊娠糖尿病などの妊娠中の病気やお母さんがもともと持っている病気など）による出生されたお子

様のNCDsの発症率やリスク因子を調査します。

2) 研究対象者

平成22年5月10日から24日の間に出産された方と出生したお子様それぞれ約5000名を対象とします。

3) 研究期間

研究機関の長の許可日～2026年12月31日

研究開始日を情報の利用を開始する予定日とします。

4) 研究方法

日本産科婦人科学会専門委員会（周産期登録）データベースよりお母さんの情報、出産の時、出産された赤ちゃんの情報を集め、岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 疫学・衛生学分野で行われている「承認統計21世紀出生児縦断調査を利用した、様々な環境要因の小児の健康・成長・発達への影響評価」の子どもの情報と繋ぎ、お母さんのお腹の中で受けた影響（出産の週数、赤ちゃんの成長不良、妊娠高血圧症候群や妊娠糖尿病などの妊娠中の病気やお母さんがもともと持っている病気など）によるお子様のNCDsの発症率やリスク因子を調査します。

5) 使用する情報

この研究に使用する情報として、以下の情報を抽出し使用させていただきますが、氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できる情報は削除し使用します。また、あなたの情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

- ・ 日本産科婦人科学会専門委員会（周産期登録）データベースよりお母さんの情報、出産の時、出産された赤ちゃんの情報
- ・ 承認統計21世紀出生児縦断調査の子どもの情報

6) 情報の保存

この研究に使用した情報は、研究の中止または研究終了後5年間、岡山大学病院 臨床研究棟6階 産科・婦人科医局内で保存させていただきます。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピューターに保存し、その他の情報は施錠可能な保管庫に保存します。

7) 研究計画書および個人情報の開示

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。

また、この研究における個人情報の開示は、あなたが希望される場合にのみ行います。あなたの同意により、ご家族等（父母（親権者）、配偶者、成人の子又は兄弟姉妹等、後見人、保佐人）を交えてお知らせすることもできます。内容についておわかりになりにくい点がありましたら、遠慮なく担当者にお尋ねください。

この研究は氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できるデータをわからない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。また、あなたの情報が研究に使用されることについて、あなたもしくは代理人の方（ご家族の方等も拒否を申し出ることが出来る場合があります。詳細については下記の連絡先にお問い合わせください。）にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申し出ください。ただし、すでにデータが解析され、個

作成日 2023年8月12日

第1.0版作成

情報公開文書様式2021年6月版

人を特定できない場合は情報を削除できない場合がありますので、ご了承ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者さんに不利益が生じることはありません。

<問い合わせ・連絡先>

岡山大学学術研究院医歯薬学域 産科・婦人科学

氏名：光井 崇

電話：086-235-7320（平日：9時00分～17時00分）